

エスプレッソ式コーヒーメーカー

ENA4

取扱説明書



安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称と付属品	6
ホーム画面／ボタン操作について	9
はじめてお使いになるときは	10
抽出前の準備	13
給水タンクに水を入れる	13
コーヒー豆を入れる	14
コーヒーを抽出する	15
使用中は	17
給水する	17
コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる	17
使用後のお手入れ	18
給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄	18
定期的なメンテナンス	19
マシン洗浄をする	19
ホッパーのお手入れ	20
フィルターを交換する	21
設定	22
アラーム表示	23
こんなときは	24
消耗品	25
ご購入が可能な消耗品	25
お客様自身で交換ができない消耗品	25
保管方法	25
廃棄について	25
水抜きの方法	26
アフターサービスについて	26
仕様	27

- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

〈表示の説明〉



警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

- コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

プラグにほこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



アースを接続する。

アースを接続せずに万一漏電が起こった場合は、感電や火災の恐れがあります。

- アース工事が必要な場合は、販売店・電気工事店にご相談ください

警告

■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに水漏れ、感電、火災などの原因となります。



プラグを抜く

この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、感電や火災などの原因となります。

● 販売店もしくは弊社コールセンターにご連絡ください。

異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

● 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線、配管などに触れない。

やけどや感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の恐れがあります。

本体に水がかかってしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターにご連絡ください。



子どもが使用するときは、近くで監督する。また、幼児の手の届くところで使用しない。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて



使用中は電源コードが本体に触れないようにする。

感電・ショートの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



注意

■ 設置について



本体は水平で安定し、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置する。
また、熱に弱い敷物の上で使用しない。
不安定な場所に設置すると、落下や転倒などによりけがの原因となります。



壁や家具の近くでは使用しない。
蒸気や熱により変形、変色する恐れがあります。



天然木や天然石の上に置く場合、水や洗剤の飛沫がついても影響がない材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護をおこなう。

使用の際に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。

■ 使用中について



抽出する前に、抽出ヘッドの位置に注意してカップを置く。また、高さの低いカップの場合は、抽出ヘッドの高さを低くする。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。

排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。
水がこぼれて、床や机を汚す原因になります。



抽出中は、抽出口に顔や手を近づけない。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。



接触禁止

抽出中や抽出直後は、抽出口など高温部に触れない。
やけどの原因となります。

作動中にホッパーの中に手を入れない。
けがの原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



製品を移動する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどがなく、十分に冷めていることを確認してからおこなう。
やけどや感電の原因となります。

長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切る。

本体内部に豆が残っていると、次に使用するとき古い豆で抽出をおこなってしまいます。



本体を落下させたり倒したりしない。
けがや故障の原因となります。

本来の目的以外には使用しない。
事故の原因となります。

■ お手入れについて



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。



本体は水洗いしない。
感電の原因になります。



フィルターの交換やクリーニングは規定どおりに実施する。

規定通りにおこなわないと、カビや細菌が繁殖する原因になります。

使用上のご注意

■ 設置場所について

- 周辺温度が 10 ～ 35℃の水平な場所に設置してください。
(上記範囲外だと故障の原因)
- 直射日光が常に当たる場所、埃やちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。
(故障の原因)
- 本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。
(熱がこもると故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。
(熱によって変形し、故障の原因)

■ 使用时

- 給水タンクに水以外のものやお湯を入れないでください。
(故障の原因)
- ホッパー（7 ページ参照）にコーヒー豆以外のものや挽いたコーヒー粉を入れないでください。
- 野外では使用しないでください。
(故障の原因)
- 給水タンクに水を入れていない状態で使用しないでください。
(故障の原因)
- 最大容量（給水タンクの MAX ライン）を超えた水を入れて使用しないでください。
(故障の原因)
- 給水タンクを本体に取り付けたまま水を補充しないでください。
(故障や感電の原因)
- 1 時間に抽出する杯数は 5 杯以内にしてください。
(故障の原因)

■ 使用後

- 電源プラグをコンセントから取り外すときは、本体の電源をオフにし、本体の動作が止まってからおこなってください。
(故障の原因)

■ お手入れ時

- 本体のプラスチック部分の清掃にアルコール類を使用しないでください。
(破損の原因)
- 本体の上面は傷が付きやすいため、メガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
(破損や変形の原因)

使用後のお手入れ方法は、18 ページを参照してください。

各部の名称と付属品

はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。
梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、
捨てずに保管しておいてください。

お願い

初めてご使用になるときは、液晶ディスプレイに
貼ってある保護シールをはがしてください。

■ マシン本体

ホッパーふた

給水タンク

液晶
ディスプレイ

■ マシン本体背面



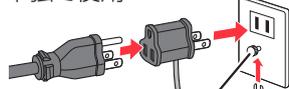
JURA Smart Connect 差込口

JURA Smart Connect/JURA WiFi Connect を差し込むと、JURA アプリでのワイヤレス操作が可能です。
ワイヤレス操作するためにはお手持ちのデバイスに JURA アプリ (J.O.E.®) をインストールし、マシンと接続する必要があります。



電源接続について

定格 15A (100V)
単独で使用



アース端子
アース線

コンセントが 2 穴の場合は、
付属の 2 芯変換プラグを取り付け、アース線をアース
端子に接続してください。

抽出ヘッド

コーヒーの抽出をおこないます。

● 抽出ヘッドはカップの高さに合
わせて位置を上下することができます。



抽出口

■ マシン本体上面

ホッパーふた

コーヒー粉投入口

コーヒー粉を投入します。
また、クリーニング剤も
ここから投入します。

投入口レバー

手前に引くとコーヒー粉
投入口が開きます。

挽き目調節ホイール

コーヒー豆を挽くときの粒
度を6段階で調節します。



ホッパー

コーヒー豆を入れます。

※ ホッパーの下（外からは見えません）にはコーヒー豆を挽くグ
ライNDER（コーヒー豆を粉状にするための部品）があります。

お願い ホッパーにコーヒー豆以外のものやコー
ヒー粉を入れないでください。
故障の原因になります。

電源ボタン

ポイント

オフタイマー

電源オン時、一定時間操作がない
と、自動的にすすぎがおこなわれ、
電源がオフになります。
オフになるまでの時間は設定するこ
とができます。（22 ページ参照）

お願い

挽き目調節ホイールはグラインダーが動い
ているときのみ調節してください。
グラインダーが停止しているときにダイヤル
を動かすと、故障や破損の原因になります。

トレイユニット

排水トレイの下側を持ち、引いて取り外します。
トレイユニットを引き出すときは、カップ受けに
当たらないよう抽出ヘッドを上げてください。

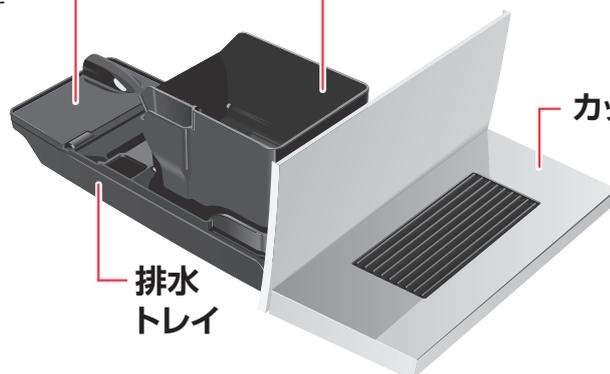
引き出し
トレイ

かす受け容器

使用済みのコーヒーかす
が排出されます。

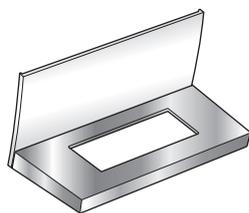
カップ受け

排水
トレイ



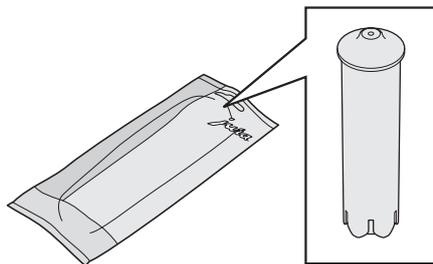
各部の名称と付属品 (続き)

■ 付属品



カップ受け × 1

本体から外された状態で梱包されていますので、排水トレイに取り付けてください。



フィルター × 1^{※1} (クラリススマートミニフィルター)

給水タンクに取り付けます。



フィルターエクステンション × 1

フィルターに取り付けます。クラリススマートミニのときは長く、クラリススマートのときは短くして取り付けます。



テスター × 1

水の硬度を測ります。



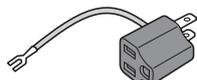
コーヒースプーン × 1

コーヒー粉やコーヒー豆を投入するとき 사용합니다。

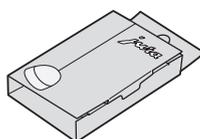


ろうと × 1

コーヒー粉を投入するとき 사용합니다。



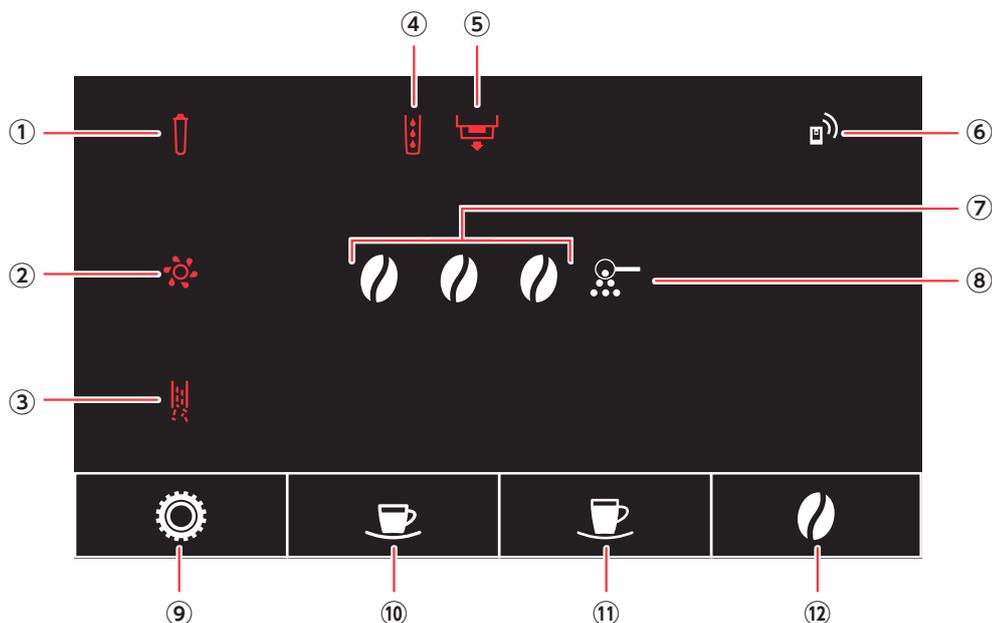
2芯変換プラグ × 1



マシンクリーニング剤 × 1^{※1} (2錠入り)^{※2}

※1 消耗品 (25 ページ参照) ※2 サンプル品

ホーム画面／ボタン操作について



①		フィルターマーク	フィルター交換の時期になると赤く点灯します。 (21 ページ参照)
②		マシン洗浄マーク	マシン洗浄の時期になると赤く点灯します。 (19 ページ参照)
③		CA 除去マーク	CA 除去の時期になると赤く点灯します。 弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法はCA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
④		水タンクマーク	水タンク内の水量が不足すると赤く点灯します。 (17 ページ参照)
⑤		かす受けトレイマーク	トレイユニットにコーヒーかすや排水が溜まると赤く点灯します。 (17 ページ)
⑥		Wi-Fi マーク	Wi-Fi 通信が開始されると点灯します。
⑦		コーヒー濃度マーク	コーヒーの濃さの他、水の硬度などの設定数値を表します。 表示の意味は、直前の操作によって異なります。詳細は各項目を参照してください。
⑧		コーヒー粉マーク	コーヒー粉からコーヒーを抽出するときに表示されます。 また、水の硬度などの設定数値を表します。 表示の意味は、直前の操作によって異なります。詳細は各項目を参照してください。

⑨		設定ボタン	本製品のメンテナンスや設定変更時に使用します。
⑩		エスプレッソボタン	エスプレッソを抽出するときに使用します。 また、設定変更時の左方向ボタンとしても使用します。
⑪		コーヒーボタン	コーヒーを抽出するときに使用します。 また、設定変更時の右方向ボタンとしても使用します。
⑫		コーヒー濃度ボタン	コーヒーの濃さを変更するときに使用します。 また、選択した設定を確定するときに使用します。

4

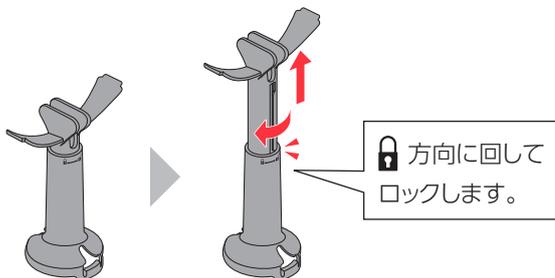
 と  が点灯するので、

給水タンクにフィルターを取り付けます。

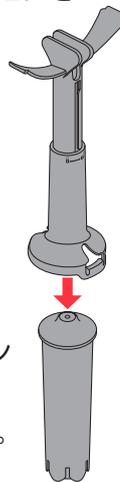
フィルターは必ずクラリススマートフィルターもしくはクラリススマートミニフィルターを使用してください。
※フィルターを取り付けずに使用を続けるとマシン寿命を縮めます。

① 抽出口の下に容器（500ml 以上のもの）を置きます。

② 付属のクラリススマートミニを使うときは、フィルターエクステンションを伸ばします。
クラリススマートフィルターを使用する場合は、伸ばさずそのまま使用します。

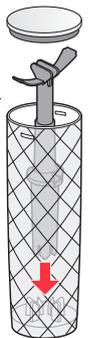


③ フィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。



④ 給水タンクのふたを開け、給水タンクを取り外します。
給水タンクは水で軽く洗ってください。
(お湯は使用しないでください)

⑤ フィルターカートリッジのエクステンションを給水タンクに挿入します。



⑥ 給水タンクに水を入れます。

クラリススマート使用時は 1L、クラリススマートミニ使用時は 1.1L 以下の水量にしてください。

⑦ 給水タンクを本体に取り付け、ふたを閉めます。
給水タンクのつめを本体のみぞに確実に取り付けてください。

お願い 水の量が給水タンクの MAX ラインを超えていないことを確認してください。

フィルターすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。
フィルターすすぎ中は抽出口からお湯が出ます。

※すすぎ中は通常より大きな音がある場合があります。

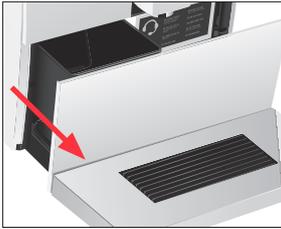
注意

フィルターすすぎ中は、抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

はじめてお使いになるときは (続き)

- 5**  が点灯したら、排水トレイにたまった水を捨て、すすいだあと、排水トレイを本体に戻します。

トレイユニットを引き出すときは、抽出ヘッドを上げてください。(破損の原因)



注意

マシン洗浄中は、抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

マシン洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。
マシン洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

抽出前の準備

給水タンクに水を入れる

給水タンクに水を入れ、本体に取り付けます。

1 給水タンクを取り外し、水を入れます。

クラリススマート使用時は 1L、クラリススマートミニ使用時は 1.1L 以下の水量にしてください。
● 水道水を使用してください。

2 給水タンクを本体にセットします。

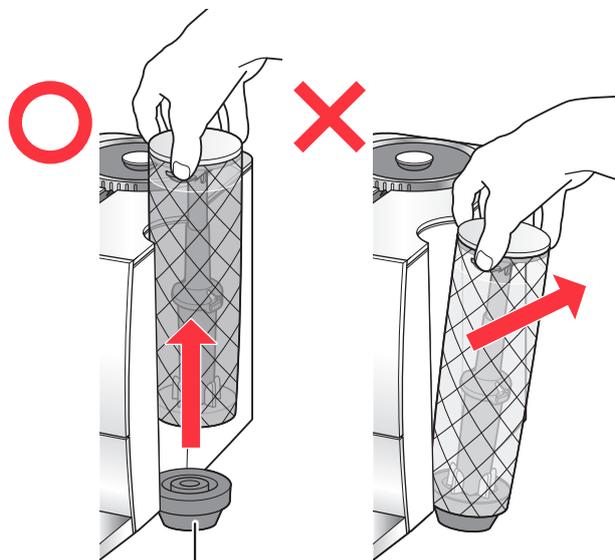
お願い

水の量が給水タンクの MAX ラインを超えていないことを確認してください。

お願い 水タンクを外すときは

- 水タンクを外すときはまっすぐ上に持ち上げてください。

傾けた状態で持ち上げると、水タンクを受ける部分（水タンク受け）が本体から外れることがあります。



水タンク受け

- 水タンク受けは外れても元に戻すことができますが、何回も取り付け・取り外しをすると、部品が劣化します。水タンクは正しい方法で取り外してください。

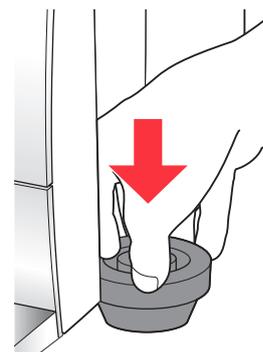
- 水タンク受けが本体から外れた場合

<水タンク受けが水タンクについているとき>

水タンクごと上から押して、水タンク受けを本体にはめこみます。

<水タンク受けが水タンクから外れているとき>

水タンク受けを手で押し込んで本体にはめこみます。



抽出前の準備 (続き)

コーヒー豆を入れる

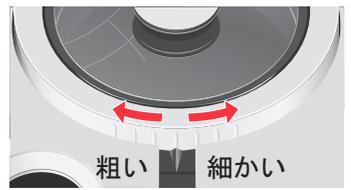
- 1 ホッパーふたを外します。
- 2 コーヒー豆をホッパーに入れます。
コーヒー豆は、入れすぎないようにご注意ください。
ホッパーふたが閉まらなくなります。
(空の状態で上限約 200g)
- 3 ホッパーふたを閉めます。

お願い
故障の原因になりますので、以下を守ってください。

- コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆以外のものや挽いた豆を入れないでください。
- 冷凍庫や冷蔵庫に入れたコーヒー豆は結露をなくすため、室内にしばらく置き、室温に戻してからご使用ください。
- フレーバーコーヒーはお使いいただけません。

ポイント

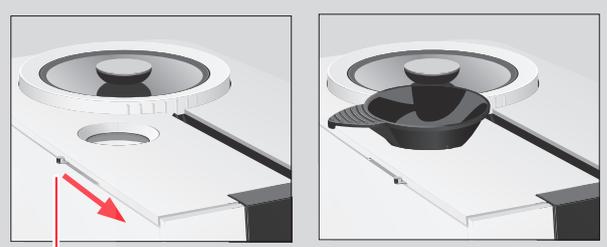
コーヒー豆の粒度を調節するときは
挽き目調節ダイヤルを回すと6段階で粒度が調節できます。
挽き目を調節した場合は、コーヒーを2回以上抽出しないと効果が得られません。
効果が得られなかった場合は、再度調節をしてください。



お願い 挽き目調節ダイヤルはグラインダーが動いているときのみ調節してください。
グラインダーが停止しているときにダイヤルを動かすと、故障や破損の原因になります。

コーヒー粉を使うとき

- ① カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。
- ② が点灯するまで ボタンを押します。
- ③ 投入口レバーを手前に引いてコーヒー粉投入口を開きます。
- ④ コーヒー粉投入口にろうとを取り付け、粉を入れます。
ろうとを取り外し、投入口レバーを元に戻してコーヒー粉投入口を閉めます。
- ⑤ ボタンまたは ボタンを押し、抽出を始めます。
ふたを閉じてから1分以内に抽出してください。



- 投入口レバー
- インスタントコーヒーはご使用になれません。
 - 粉は、「中細挽き」または「中挽き」のものをご使用ください。
挽き目が細かすぎると、コーヒーの出が悪くなる場合があります。
 - コーヒー粉投入口が粉の付着等で汚れた場合は、コーヒー粉を拭き取るなどして清掃してください。

使用できるコーヒー粉
「中細挽き」または「中挽き」
投入量
計量スプーン1杯 (約 8g)
※ コーヒー粉が少なすぎると、抽出されずに、粉がかす受け容器に排出されます。

お願い コーヒー粉は一度の抽出につき計量スプーン1杯より多く投入しないでください。
故障の原因になります。

コーヒーを抽出する

1 電源を入れます。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② 本体の電源スイッチを押します。

自動的にヒートアップ（マシン内部の加熱）とすすぎがおこなわれます。

ヒートアップ・すすぎ中は、抽出口からお湯が出ます。

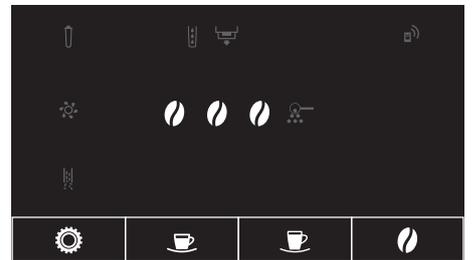
コーヒーが抽出可能になるまで約1分かかります。



2 コーヒーの濃さを設定します。

- ボタンを押して、コーヒーの濃さを調節します。
- コーヒーの濃さは3段階です。

画面表示	コーヒーの濃さ
	マイルド
	ノーマル
	ストロング



- 調節をおこなった場合は、設定が保存され、次回抽出時に反映されます。
-  と表示されている状態では、コーヒー豆からのコーヒー抽出はできません。

3 カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。

背の低いカップの場合、抽出ヘッドの位置が高すぎると、コーヒーが飛び跳ねる恐れがありますので、適度な高さに調節してください。



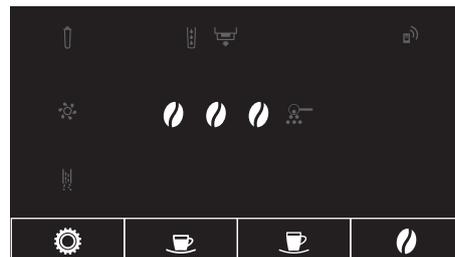
コーヒーを抽出する (続き)

4 画面が表示されたら、
 ボタンまたは  ボタンを押します。

抽出が開始されます。

あらかじめ設定された量のコーヒーが抽出されます。

- 抽出を途中で止めたいときは、いずれかのボタンを押します。
※ 蒸らしのときに少量のコーヒーが抽出される場合があります。
- くり返し抽出するときは、お湯も含め、1 時間に 5 杯以内にしてください。抽出杯数が多いと故障の原因となります。



注意

抽出中は、やけどに注意する。

2 杯続けて抽出するとき

- ① コーヒーカップを 2 つ準備します。
- ② カップ受けの上にコーヒーカップを 1 つ置き、抽出ヘッドの高さを調節します。
- ③  ボタンまたは  ボタンを、2 回押します。
1 杯目の抽出が開始されます。
- ④ 1 杯目の抽出後すぐに、コーヒーの入ったカップをもう 1 つのカップと交換します。
2 杯目の抽出が開始されます。

コーヒーの量の設定

カップのサイズに応じて、抽出されるコーヒーの量を設定することができます。

- ① カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。
- ②  ボタンまたは  ボタンを約 2 秒間長押しします。
コーヒーの量を設定したい方のボタンを押してください。
抽出が開始されます。
- ③ お好みの量のコーヒーがカップに抽出された時点で、いずれかのボタンを押して抽出を停止します。
抽出された量が規定量として設定され次回抽出時に反映されます。

● 使い始めやしばらく使用していなかったときは

内部にコーヒー粉が充填されていないと抽出が途中で止まる場合があります。
その場合は再度  ボタンまたは  ボタンを押してください。

- JURA アプリ (J.O.E[®]) を使って抽出を開始することも可能です。
詳細は JURA アプリの画面とマニュアルを参照してください。

ポイント

オフタイマー

電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。
オフになるまでの時間は設定することができます。(22 ページ参照)

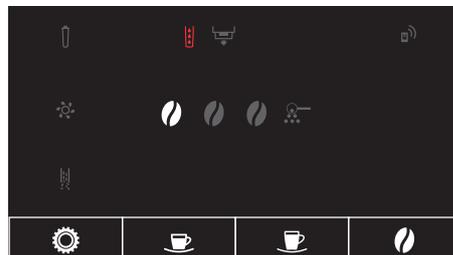
使用中は

給水する

 が点灯したら、給水します。

目安として、給水タンクに MAX ラインまで水を入れた状態で、コーヒーを約 10 杯分抽出できます。

給水タンクを本体に戻すと、画面は元に戻ります。

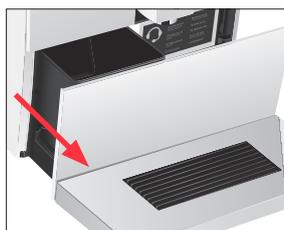
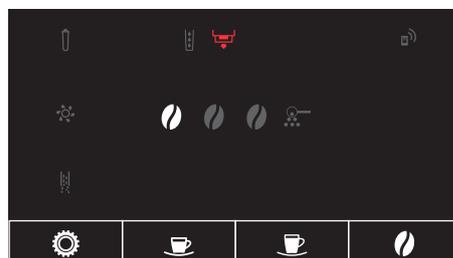


コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる

 が点灯したら、トレイユニットを引き出し
コーヒーかすと排水の両方を捨ててください。

本製品には排水トレイが満水であることのみを示す表示はありません。

この表示が出たら、コーヒーかすと排水の両方を必ず捨ててください。



お願い

製品が動作しているときは、トレイユニットを引き出さないでください。(24 ページ参照)
トレイユニットがセットできなくなるおそれがあります。
(故障の原因)

注意

排水トレイの水は必ず定期的に捨てる。

本製品には水位を検知するセンサーがありませんので、定期的に排水トレイにたまった水を捨てないと、水があふれる恐れがあります。

- コーヒーマシンはコーヒーを抽出したあと、コーヒーかすの水分を取るため、毎回少量の水をトレイに排出します。
-  マークはトレイユニットのセット後、8 回抽出すると点灯される仕組みになっています。
- カウントはトレイユニットを引き出すとリセットされますので、トレイユニットを引き出したタイミングで必ず排水トレイにたまった水とコーヒーかすを捨ててください。

使用後のお手入れ

1日の終わりに 給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄

注意

- 本体は水洗いしない。
感電の原因になります。
- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。

お願い

- 乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- マシンの表面は傷が付きやすいためメガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- 本体のプラスチック部分清掃にアルコール類を使用しないでください。

1 電源を切る前に、トレイユニットを引き出し、かす受け容器に入っているかすを捨てます。

トレイユニットは引き出してから、セットするまで 10 秒以上時間をおいてください。

2 かす受け容器を戻し、トレイユニットを本体に戻します。

3 電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ マシン洗浄（19 ページ）後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源が切れます。マシン洗浄後に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源が切れます。

4 トレイユニットと給水タンクを取り外し、洗います。また、本体内部を清掃します。

給水タンク

給水タンク内の水を捨て、フィルターを外したあと、中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フィルターを給水タンクにセットして本体に戻します。

本体内部

トレイユニットを引き出した状態で、本体内部のコーヒーやコーヒーかす汚れを、かたくしぼった布巾や柔らかいブラシ・刷毛で取り除いてください。※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受け

トレイユニットを引き出し、排水トレイにたまっている水を捨てたあと、かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受けを中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、かす受け容器をトレイユニットに戻し、本体にトレイユニットを戻します。

※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

お願い

トレイユニットは動作音がしなくなってから取り外してください。

トレイユニットがセットできなくなるなどの不具合が起きる可能性があります。

（セットできなくなった場合は 24 ページの「こんなときは」を参照してください）

注意

コーヒーかすや排水トレイの水は熱い場合があるので、注意する。

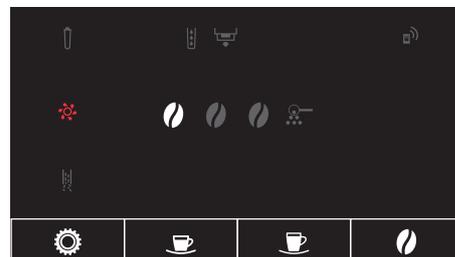
やけどの原因になります。

定期的なメンテナンス

が点灯したら マシン洗浄をする

 が点灯したら、以下の手順でマシン洗浄をおこなってください。

- 目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回おこなわれると、 が点灯します。
 - マシン洗浄をするとカウンターはリセットされます。
- ※ 1 週間程度使用しない場合は、マシン洗浄をしてください。



1  ボタンを約2秒間長押しします。

2  が点灯したら、
トレイユニットを引き出し、かす受け容器を
空にして、本体に戻します。



3 給水タンクに水を入れ、容量が300ml以上
の容器を抽出口の真下に置きます。

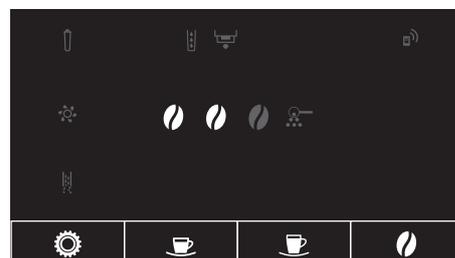


4  ボタンを押します。

 が点灯します。

注意

マシン洗浄中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、
やけどに注意する。



マシンの洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

定期的なメンテナンス（続き）

5

 が点灯したら、

コーヒー粉投入口を開けてクリーニング剤1錠を投入します。

※ 投入のタイミングが異なると、クリーニング剤はかす受け容器に落下します。

クリーニング剤は弊社指定のものをお使いください。

タイプ

JURA クリーニングタブレット（6錠入り）



6

コーヒー粉投入口を閉めて、 ボタンを押します。

マシンの洗浄がおこなわれますので、約10分ほど待ちます。



注意

マシン洗浄中は、コーヒー抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

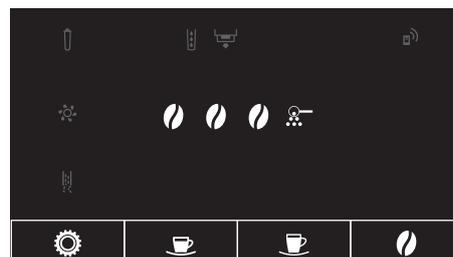
7

 が点灯したら、

トレイユニットを引き出して、

かす受け容器と排水トレイを空にします。

※排水トレイおよびかす受け容器には排水が溜まります。



が3回点滅したら、マシンの洗浄は完了です。

定期的な ホッパーのお手入れ

ホッパー内にコーヒー豆の油分が蓄積すると、豆がうまく挽けなくなったり、風味を損なう原因になります。なるべくこまめにホッパーを乾燥した柔らかい布で拭いてください。

※ ホッパー内部はお手入れできません。

お願い

ホッパーは湿った布で拭かないでください。
グラインダーがさびる原因になります。

 が点滅していない状態からも、マシンの洗浄は可能です。  ボタンを押して

設定モードに入り、 ボタン /  ボタンを押して  を点灯させます。

その後  ボタンを押すとマシン洗浄の状態になるので、前項の [2] の状態から洗浄工程を開始してください。

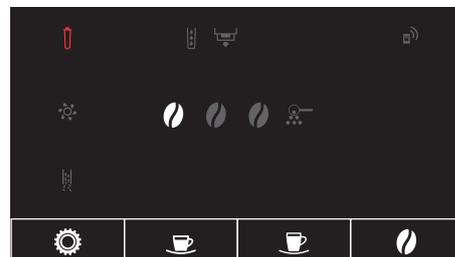
フィルターマークが赤く点灯したら フィルターを交換する

 が点灯したら、フィルターを交換してください。
フィルターは必ず「クラリススマートミニフィルターもしくはクラリススマートフィルター」をお使いください。

お願い

浄水能力の低下が始まりますので、フィルターを取り付けて2ヶ月が経過したら、 が赤く点灯していなくても、以下の手順でフィルターを交換してください。

付属のクラリススマートミニ使用の場合、洗浄を含む約30Lの浄水の使用でフィルターマークが赤く点灯します。

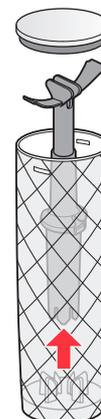


1 フィルターを取り外します。

- ① ふたを開けて給水タンクを外し、タンク内の水を捨てます。
- ② フィルターを持ち上げて外します。
- ③ フィルターエクステンションを取り外します。

タイプ

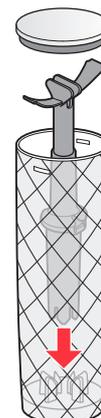
クラリススマートミニフィルターもしくはクラリススマートフィルター



2 新しいフィルターを取り付けます。

フィルター取り付けの詳しい手順は11ページ「はじめてお使いになるときは 4」の手順を参照してください。

- ① 新しいフィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。
- ② 新しいフィルターを給水タンクに取り付けます。
- ③ 給水タンクに水を入れ、マシンにセットします。
新しいフィルターを取り付けると、マシンが自動的にフィルターを検出します。
- ④ フィルターすすぎをおこないます。
- ⑤  が点灯したら、トレイユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレイを空にします。



設定

設定モードでは、オフタイマーと水の硬度を設定することができます。

-  ボタンを押すと設定モードになります。
再度  ボタンを押すと設定モードは終了します。
- JURA アプリ (J.O.E.®) を使用すると、パルス抽出プロセス (P.E.P) 機能やインテリジェント予熱機能の設定をすることができます。

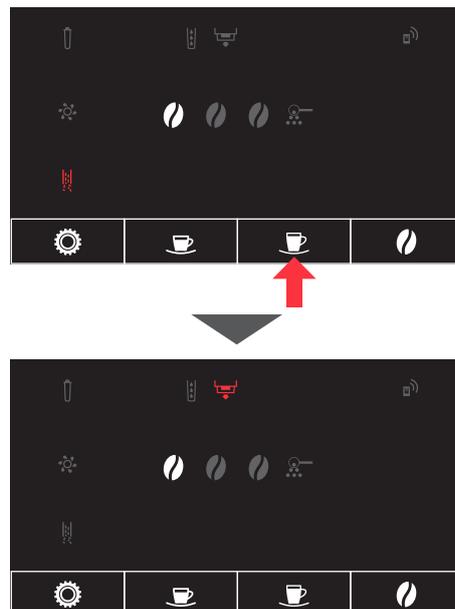
オフタイマー

一定時間操作をしないときに、マシンが自動的に電源オフになるまでの時間を設定します。

- ①  ボタンを押します。
 が明るく点灯し、設定モードになります。
- ②  が明るく点灯するまで、 ボタンを数回押します。
- ③  ボタンを押します。
- ④  ボタン /  ボタンを押し、電源オフになるまでの時間を選択します。

画面表示	電源オフになるまでの時間
	30分
	1時間
	2時間
	4時間

- ⑤  ボタンを押して、設定を確定します。
 が3回連続して点滅します。
- オフタイマーは JURA アプリでも設定変更が可能です。



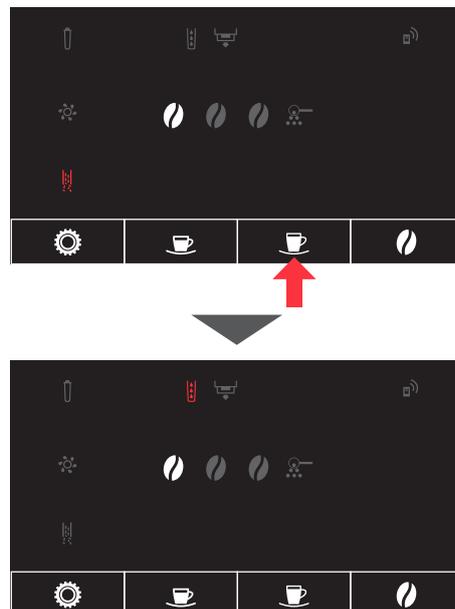
水の硬度

使用後に設定を変更する場合は、以下の手順で再設定します。

- ①  ボタンを押します。
 が明るく点灯し、設定モードになります。
- ②  が明るく点灯するまで、 ボタンを数回押します。
- ③  ボタンを押します。
- ④  ボタン /  ボタンを押し、水の硬度を選択します。

画面表示	硬度設定値
	1 ~ 7dH
	8 ~ 15dH
	16 ~ 23dH
	24 ~ 30dH

- ⑤  ボタンを押して、設定を確定します。
 が3回連続して点滅します。



アラーム表示

画面表示	原因	対処方法
 が点灯している。	給水タンクが空になっている。	給水タンクに水を入れてください。
	給水タンクが正しくセットされていない。	給水タンクを正しくセットしてください。
	給水タンクが浮いている。	給水タンクをセットし直してください。
 が点灯している。	かす受け容器が満杯になっている。	排水トレイとかす受け容器を空にしてください。 (17 ページ参照)
	排水トレイが満杯になっている。	
 が点滅している。	トレイユニットが正しくセットされていない。	トレイユニットを正しくセットしてください。 トレイユニットは、取り出してからセットするまで10秒以上間をおいてください (カウンターをリセットさせるため)。 (17 ページ参照)
 が点灯している	マシンの洗浄が必要。	マシンを洗浄してください。 (19 ページ参照)
 が点灯している※ ¹	水垢除去が必要。	弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
 が点灯している。	クラリススマートミニフィルター使用時で約 30L、クラリススマートフィルター使用時で約 50L 水を交換したため、フィルターの交換が必要。	クラリススマートミニフィルターかクラリススマートフィルターを交換してください。 (21 ページ参照)
フィルターが取り付けられていない状態で  が点灯している。	フィルターが取り付けられていない。	フィルターを取り付けてください。
コーヒー豆が挽かれた後、  が点滅する。	ホッパーに豆が入っていない。	コーヒー豆を入れてください。
 が点滅する。	挽いたコーヒーの量が足りない。	14 ページの「コーヒー豆を入れる」からやり直してください。
 の 1 つ目と 3 つ目が交互に点滅している。	システム内に水が供給されていない。	 ボタンを押してシステム内に水を供給してください。

※¹ フィルターを取り付けずに使用を続けたり、フィルターを交換せずにマシンを使用し続けた場合にアラームが出ます。
上記以外のアラームが表示された場合は、弊社コールセンターへお問い合わせください。

こんなときは

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない／ 液晶ディスプレイの表示 が出ない。	コンセントから電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	3℃以下の寒い場所に保管していた。	本体を 10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。
	ディスプレイ保護シートをはがしていない。	保護シートをはがしてください。(6 ページ参照)
コーヒーの出が悪い。 コーヒーが出ない。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎて、流れが悪くなっている。	挽き目調節ホイールを回し、粗めに設定してください。(14 ページ参照)
	フィルターの目が詰まっている。	フィルターを交換してください。(21 ページ参照)
	水垢 (CA) がマシン内部に付着している。	水垢を除去してください。 弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
 または  が点灯、 他の記号が点滅している。	マシンが長期間寒さにさらされている場合、安全上の理由から加熱が無効になっている可能性があります。 (マシンは自動的にオフになります)	室温を暖かくしてから再度電源を入れ直してください。 室温が 0 度以下になる場合は凍結しますので、必ず水抜きをおこなってください。 (26 ページ参照)
豆がうまく挽けない。 コーヒーが薄くなった。	ホッパー内に異物が入っている。	異物を取り除いてください。
	挽き目が細かすぎる。	挽き目調節ダイヤルを回し、粗めに設定してください。(14 ページ参照)
	ホッパー内が汚れている。	ホッパー内を清掃してください。(20 ページ参照)
	豆が湿っている。	新鮮な豆に交換してください。
トレイユニットが本体に入らない。	洗浄中やすすぎ中など、本体の動作中にトレイユニットを抜いてしまったため、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① かす受け容器を入れない状態で、トレイユニットをいったんセットし、電源をオフにします。 ② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。 ③ トレイユニットを抜き、かす受け容器を入れたあと、再度トレイユニットをセットします。
トレイユニットがひっかかって 取り出せない。	本体の動作中にトレイユニットを引き出そうとして、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① トレイユニットを元の位置に挿入し、電源をオフにします。 ② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。
電源を入れてからある程度 時間が経つと電源がオフに なる。	オフタイマーが働いた。 (一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります)	再度使用するときは、電源スイッチを押して電源を入れてください。 オフタイマーの時間は設定することができます。(22 ページ参照)

消耗品

ご購入が可能な消耗品

部品の購入は、コーヒーマシンを購入した販売店または弊社コールセンターにご連絡ください。

また、一部の消耗品は、弊社ウェブサイトから購入できます。

<https://www.brewmatic.co.jp/JURA/online/>

部品名称		
給水タンク	カップ受け	クラリススマートミニフィルター
ホッパーふた	JURA クリーニングタブレット(6錠)	フィルターエクステンション
かす受け容器	クラリススマートフィルター	

お客様自身で交換ができない消耗品

以下の部品はお客様自身で交換できません。弊社コールセンターにご相談ください。

部品名称	
グラインダー	抽出ユニット
抽出用ノズル	バイブレーションポンプ
各種 O リング、ガスケット	サーモブロック
抽出ユニットピストンフィルター	

保管方法

- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
(保管環境温度 4 ~ 60℃)
- 長期間使用しないときや冬季をまたいで保管する場合は、本体内部のコーヒー豆と水を抜き、購入時に入っていた箱に入れて保管してください。(26 ページ参照)

廃棄について

製品や使用済のフィルターを廃棄するときは、お住いの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

水抜きの方法

マシンを長期間使用しない場合や冬季をまたいで保管する場合、または運搬する場合は、以下の手順で本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。

- ① 給水タンクを外し、空にします。
- ② 抽出口の下に容器を置きます。
- ③  ボタンと  ボタンを同時に押します。
- ⑤  ボタンを押します。
→    が点滅し、内部に残っている水がなくなるまでお湯が出ます。
- ⑥ 電源がオフになります。

アフターサービスについて

別紙の「保証とアフターサービスについて」と「保証書」をご覧ください。

仕様

寸法	幅 271mm × 奥行 445mm × 高さ 325mm
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200W
給水タンク容量	約 1L (クラリススマート使用でエクステンション装着時) 約 1.1L (クラリススマートミニ使用でエクステンション装着時)
ホッパー容量	125g
排水トレイ容量	500ml
コーヒーかす受け容器の容量	最大 10 杯分 ※選択したコーヒー粉量により変わります。
抽出杯数	最大 5 杯 (1 時間当たり)
質量	約 10 kg
コードの長さ	約 1.2m
保管環境温度	4 ~ 60°C
使用環境温度	10 ~ 35°C

※本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています。

Made in Portugal

輸入／販売元

ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp>

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

福岡営業所：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24



©2021 ブルーマチックジャパン株式会社

210728